

福島第一原子力発電所 1～4号機の安定状態の維持に努めています

福島第一原子力発電所の事故発生以来、地域の皆さまに大変なご心配とご迷惑をおかけしており、改めて心よりお詫び申し上げます。

1～4号機の廃止措置の取り組み状況

- ◆ 1～3号機の原子炉圧力容器底部温度と格納容器内温度は安定しており、格納容器内圧力や格納容器からの放射性物質の放出量なども変動はなく、冷温停止状態は総合的に維持されていると判断しています。
 なお、2号機では原子炉圧力容器底部の温度計1つが故障したため、他の温度計により監視を継続しています。

格納容器内部の調査を継続

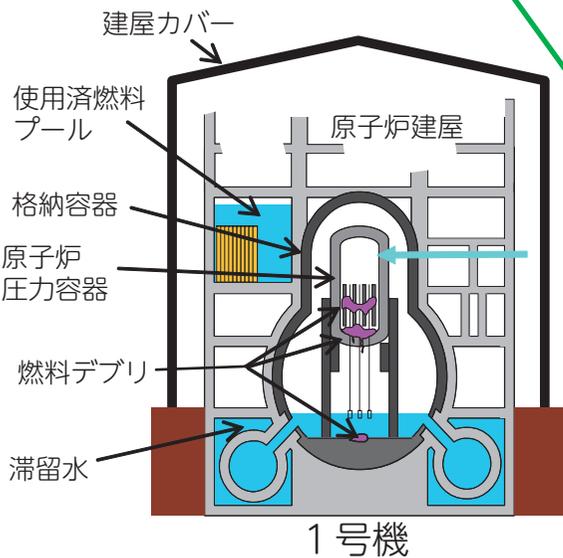
工業用内視鏡を使って内部を確認し滞留水の水位・温度および放射線量などを測定します。

原子炉建屋5階の調査

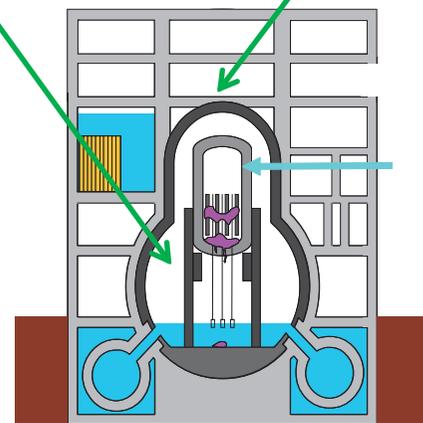
燃料の取り出しに向けて遠隔操作ロボット「クインス」で調査を実施しました。



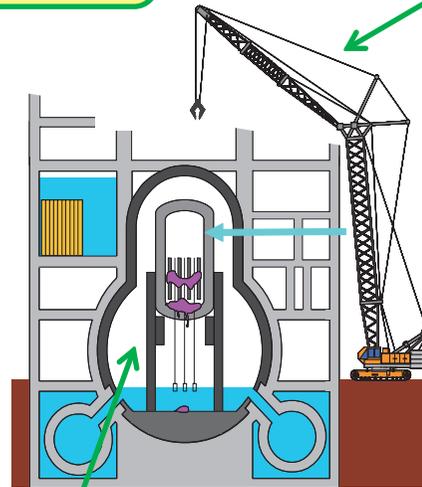
クインス



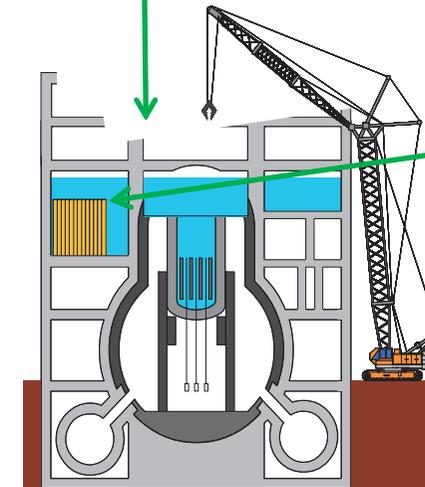
1号機



2号機



3号機



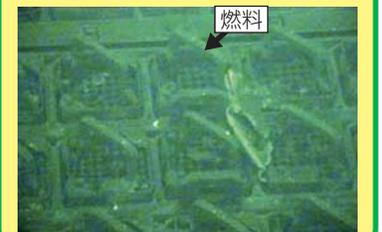
4号機

原子炉建屋上部のガレキ撤去を継続

燃料を取り出すためのクレーン等を設置する準備をしています。

使用済燃料プールの透明度を確認

プール内のガレキ等の状況を確認するためカメラを入れて測定し、約5mの視認距離を確認しました。



燃料

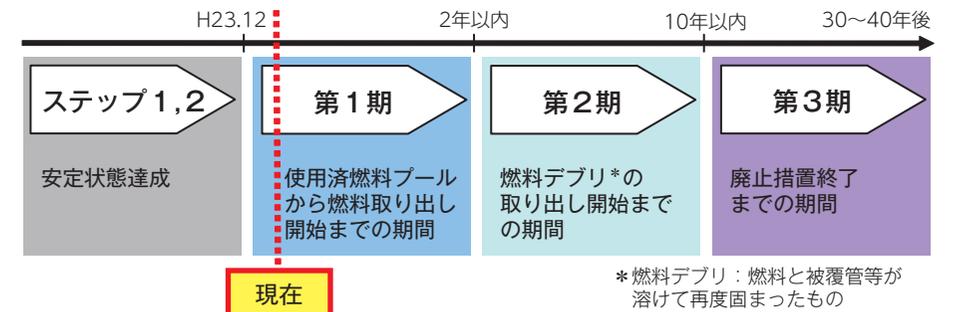
循環注水冷却を継続 (1～3号機)

滞留水を処理して原子炉に注水しています。配管などの凍結防止のため、保温材を取り付けています。

格納容器ガス管理システムを設置

格納容器から漏れ出す放射性物質の放出を抑制します。1,2号機は既に設置済です。

廃止措置に向けた中長期ロードマップ



現在

*燃料デブリ：燃料と被覆管等が溶けて再度固まったもの